

2. 公衆衛生看護学Ⅲ－1) 実習（産業保健）

1) 実習目的

働く人の抱える健康課題と産業保健活動の実際を学び、産業保健師、産業看護師の役割を理解する。

2) 実習目標と到達目標

実習目標	到達目標	学習の視点
(1) 実習施設の機能と役割を理解し、概要を述べることができる	①実習施設の機能と役割を理解し、概要を述べるができる ②産業保健活動に関わる主な法規と施策の概要を述べるができる	・実習施設の概要 ・産業保健における産業医・看護職の活動と産業保健の推進に携わる職種との連携 ・労働関係法規と労働衛生管理の実際
(2) 働く人の労働と健康の関連を理解する	①労働条件と労働環境が対象の健康に及ぼす影響（身体的・精神的）について理解できる ②働く人の健康状態を把握し、健康課題を解決する方法について考えることができる。	・特定健康診査・特定保健指導 ・労働と健康（労働環境、労働態様）、業務上疾病、労働災害 ・職業性疾病、作業関連疾患 ・海外出張者健康管理、有害業務と特殊健康診査、作業環境測定
(3) 産業保健活動の目的と活動の実際を理解する	①労働衛生の目的と実際が理解できる ②健康管理の具体的な方法を理解できる ③各種健康診断に関わる産業保健専門職との連携について理解できる	・総括管理・作業管理・作業環境管理・健康管理・労働衛生教育 ・健康診断の種類と法的根拠（定期健康診断・特殊健康診断・特定健診・人間ドック等）の計画と実施 ・健康診断の事後措置 ・働く人の健康増進・他機関・他職種との連携・協働 ・長時間労働者の健康管理 ・メンタルヘルス対策 ・障害者雇用の実際・復職支援
(4) 産業保健師・産業看護師の役割について考えることができる	①働く人（個人・集団・組織）のヘルスニーズに基づいた産業保健活動の必要性について理解できる ②産業看護職の専門的役割について述べるができる ③産業保健活動で起こりうる倫理的問題（個と組織のプライバシーの保護、公平性、中立性）について理解できる	・健診データおよび結果等、個人情報の取り扱い及び保管

3) 実習展開

(1) 臨地

実習日	1 日目	2 日目	3 日目
実習施設	産業保健（事業所、労働衛生機関 他）		
実習内容	実習施設の実習計画に沿って実習		

(2) 学内

- 目的：①公衆衛生看護学Ⅲ（産業保健）実習の目的・目標・展開内容を理解し、実習に向けた学習を進めることができる
- ②それぞれの実習施設の概要を理解するとともに、実習に向けての課題を明確にすることができる
- ③実習施設の情報収集及び保健指導、健康教育、インタビュー等の準備ができる
- ④実習での実際から学びと考察をまとめ発表し、産業看護師・産業保健師の役割を理解する。

時間数	実習内容
2 コマ（180 分）	出席確認・公衆衛生看護学における産業保健活動の位置づけについて
	実習の目的・目標・展開等実習内容の説明 知識確認テスト他
2 コマ（180 分）	実習施設の事業概要について学び、まとめる
2 コマ（180 分）	まとめ・発表

4) 事前学習

- (1) 産業保健関連法規
労働安全衛生法（労働安全衛生規則）、労働基準法（労働基準法施行規則）
産業保健を担う職種・組織
- (2) 働く人に対する一般健康診断と特殊健康診断
- (3) 医療保険制度の体系とその内容
健康保険組合の種類
- (4) 特定健康診査・特定保健指導について
- (5) 総括管理、作業管理、作業環境管理、健康管理、労働衛生教育
- (6) メンタルヘルス対策
- (7) 実習施設概要

5) 実習上の留意点

- (1) 実習施設の機密保持に努める
- (2) 服装は、実習内容、施設により異なるためオリエンテーションで指示する

6) 実習評価

- (1) 他者評価は実習指導者と協議の上、教員が行う。
- (2) 自己評価は学生自身が行う（ボールペンで記載する）。

7 実習記録について

実習記録・その他の記録

記録用紙	枚数	備考
公衆Ⅲ－1) 日々の記録	3	
公衆Ⅲ－2) 労働衛生の管理	1	PC 可
公衆Ⅲ－3) ①労働と健康の関連（聴き取り用紙）	1	
公衆Ⅲ－3) ②労働と健康の関連（実施記録）	1	
公衆Ⅲ－4) ①保健指導のための事例検討シート	1	
公衆Ⅲ－4) ②健康教育企画書	1	PC 可
公衆Ⅲ－4) ③実施記録	1	PC 可
公衆Ⅲ－1) 産業保健実習のまとめ	1	PC 可

公衆衛生看護学Ⅲ－1) 実習 実習評価表

学籍番号		学生氏名		欠席時間数	
実習施設			実習期間	年 月 日 ～ 月 日	
評価の視点				自己評価	他者評価
実習 目標 1	① 実習施設の機能と役割を理解し、概要を述べることができる		/5	/5	/10
	② 産業保健活動に関わる主な法規と施策の概要を述べることができる		/5	/5	
実習 目標 2	① 労働条件と環境が対象の健康に及ぼす影響（身体的・精神的）について理解できる		/10	/10	/20
	② 働く人（個人・集団・組織）のヘルスニーズに基づいた産業保健活動の必要性について理解できる		/10	/10	
実習 目標 3	① 労働衛生の目的と実感が理解できる		/5	/5	/15
	② 健康管理の具体的な方法を理解できる		/5	/5	
	③ 各種健康診断に関わる産業保健専門職との連携について理解できる		/5	/5	
実習 目標 4	① 産業看護職の専門的役割について述べるができる		/10	/10	/15
	② 産業保健活動で起こりうる倫理的な問題（個と組織のプライバシーの保護、公平性、中立性）について理解できる		/5	/5	
実習 態度	① 期日までに必要な学習ができる				
	② 看護学生として責任感をもって行動できる				
	③ 生命の尊厳と権利を尊重し、主体的に対象との関わりができる				
	④ グループ内での役割を果たし協同できる				
	⑤ 助言に対する内省行動ができ、自己の課題を明確にできる				
				/60	
コメント				合計点（学校保健の評価も加える）	
				点/100 点	
				実習成績	
実習指導者			担当教員		

実習目標 1～4：点数で記入

実習態度評価基準：S 優れてできる A できる B 不十分さを残すができる C できない

※実習成績は、産業保健と学校保健の合計点で評価する

公衆衛生看護学Ⅲ－2) 実習（学校保健）

1) 実習目的

学校保健の実際を学び、地域における学校保健の機能と役割を理解する。

2) 実習目標と到達目標

実習目標	到達目標	学習の視点
(1) 実習施設の機能と役割を理解し、概要を述べることができる	①実習施設の機能と役割を理解し、概要を述べることができる ②学校保健に関わる主な法規と学校保健の概要について述べることができる ③学校保健計画・学校安全計画について述べることができる	・実習施設の概要 ・教育基本法・学校教育法・学校保健安全法・学校給食法 ・学校保健行政の概要 ・学校保健計画 ・学校安全計画
(2) 学校における健康課題と必要な支援について理解する	①幼児・児童・生徒の健康課題について理解できる ②特別な支援を要する子どもへの必要な支援を理解できる	・健康観察 ・保健室対応
(3) 学校保健活動の目的と活動の実際を理解する	①学校保健の目的と対象が理解できる ②学校保健の具体的な方法を理解できる ③学校保健にかかわる職員・専門職と連携について理解できる	・保健教育（保健学習、保健指導） ・保健管理（健康診断、健康相談、感染症予防、学校環境衛生）
(4) 学校保健活動における看護職の役割について考えることができる	①学校保健における看護職の専門的役割について述べるができる ②地域における学校保健の機能と役割について理解できる	・学校組織の健康を守るための取組 ・健康課題に応じた支援

3) 実習展開

実習日	1 日目	2 日目
実習施設	学校保健（京都市内の学校）	
実習内容	実習施設の実習計画に沿って実習	

4) 事前学習

- (1) 学校保健・学校看護の歴史
- (2) 学校保健関連法規
教育基本法、学校教育法、学校保健安全法、学校給食法
- (3) 学校保健行政の概要
- (4) 学校保健・安全にかかわる組織や人材
- (5) 健康診断における健康診断と事前・事後の措置
- (6) 特別な支援を要する子どもへの対応
- (7) 保健室の機能、役割
- (8) 実習施設概要

5) 実習上の留意点

- (1) 実習において知りえた内容の機密保持に努める
- (2) 注意事項、用意するもの、服装は、オリエンテーションで指示する

6) 実習評価

- (1) 他者評価は、教員が行う。
- (2) 自己評価は学生自身が行う（ボールペンで記載する）。

7) 実習記録・その他の記録

記録用紙	枚数	備考
公衆Ⅲ-2) 学校保健 日々の記録	2	
公衆Ⅲ-2) 学校保健 まとめ	1	PC 可

公衆衛生看護学Ⅲ－2) 実習 実習評価表

学籍番号		学生氏名		欠席時間数	
実習施設		実習期間	年 月 日 ~ 年 月 日		
評価の視点				自己評価	他者評価
実習 目標 1	① 実習施設の機能と役割を理解し、概要を述べることができる			/3	/3
	② 学校保健活動とその根拠法令を述べることができる			/3	/3
	③ 学校保健計画・学校安全計画について述べるができる			/4	/4
				/10	
実習 目標 2	① 幼児・児童・生徒の健康課題について理解できる			/5	/5
	② 特別な支援を要する子どもへの必要な支援を理解できる			/5	/5
				/10	
実習 目標 3	① 学校保健の目的と対象が理解できる			/3	/3
	② 学校保健の具体的な方法を理解できる			/3	/3
	③ 学校保健にかかわる職員・専門職と連携について理解できる			/4	/4
				/10	
実習 目標 4	① 学校保健における看護職の専門的役割について述べるができる			/5	/5
	② 地域における学校保健の機能と役割について理解できる			/5	/5
				/10	
実習 態度	①期日までに必要な学習ができる				
	②看護学生として責任感をもって行動できる				
	③生命の尊厳と権利を尊重し、主体的に対象との関わりができる				
	④グループ内での役割を果たし協同できる				
	⑤助言に対する内省行動ができ、自己の課題を明確にできる				
コメント				/40	
担当教員					

実習目標 1～4 は、数字で表記

実習態度評価基準：S 優れてできる A できる B 不十分さを残すができる C できない

※実習成績は、産業保健と学校保健の合計点で評価する

3 管理	管理の実際(目的・内容)	考察・学び
作業環境管理		
作業管理		
健康管理		

学籍番号		学生氏名	
実習日	年	月	日 ()
実習目標			
実習内容			
目標に沿った学び・考察			
助言			

学籍番号				学生氏名	
実施日	年	月	日 ()	実施場所	
メンバー (役割)			() () ()		
実施目的 (学びたい 事)					
聴きたい事と理由				留意点	

聴きたい事と理由	留意点

学籍番号		学生氏名
実施日	年 月 日 ()	

<学び・考察>	助言

1. 対象者の情報	2. 保健指導が必要だと考えるところ
1) 健康について	
2) 作業について	
	3. 保健指導の実際（内容・方法）
3) 作業環境について	
4) 生活背景	
5) 働く人の思い・考え	

公衆Ⅲ-4)② 健康教育企画書

テーマ:
テーマ設定の理由:

目的	開催日時 年 月 日 () 時 分～ 時 分
	開催場所
目標	周知方法
	担当者・役割
対象	
対象の特性	必要物品
	会場設営
評価計画	参考文献

構成	時間	項目・内容	留意点	予測される 対象の反応	媒体・方法
導 入					
展 開					
ま と め					

公衆Ⅲ-4)③ 実施記録() 学籍番号 学生氏名

実施内容・結果	評価考察
助言	

公衆衛生看護学Ⅲ-1) 産業保健実習のまとめ

学籍番号() 氏名()

労働条件と労働環境が対象の健康に及ぼす影響
健康課題を解決する方法について
産業保健における看護職の役割について

学籍番号		学生氏名	
実習日	年	月	日 ()
実習目標			
実習内容			
目標に沿った学び・考察			
助言			

学籍番号 ()	氏名 ()
学校生活集団の健康を守るための取り組みの実際	
地域における学校保健の機能と役割	